

(別紙4(2))

事業所名: グループホームさくら・さくら

作成日: 令和 5年 10月 27日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍によって地域ボランティアとの関係が希薄になっている。物理的な交流・連携はなくとも、いつでも連絡が取れる関係を構築しておくことが望ましい	地域との繋がりを意識し、関係を継続する。	実際にボランティアからの問い合わせも少しずつ増えてきており、受け入れの体制を検討している。感染症蔓延のリスクにも留意しながら、ボランティアの再開に向けて地域との密な連絡を取り合っていく。	12ヶ月
2	3	外部評価の結果は委員会に報告されているが、その後に目標達成計画の進捗評価が実施されていない。委員は課題や目標に関する活動のモニターである事を説明し、委員会としての評価を実施されたい。	運営推進会議で地域の有識者との連携を図る。	次回開催の地域共生委員会で外部評価結果の報告と共に目標達成計画を委員に周知する。目標実現に向けた課題解決への意見やアイデアを出し合い、協同的に進めていきつつ定期的に経過報告を行う。	12ヶ月
3	11	複合施設内の事業所間で、労働内容の重軽による不公平感が生じないよう、適時の交換研修や交代勤務を行っている。秀逸な取り組みとして、今後も積極的な運用を期待したい。	職員の労働環境に目を向け、働きやすい環境を作る。	視野を広げ、スタッフ個々が生きよう交換研修を継続していく。	12ヶ月
4	24	コロナ禍もあって、前回目標達成計画に取り上げた「地域の防災訓練に参加する」ことが実現していない。地域への働きかけ等、継続した取り組みを期待したい。	地域の一員として防災への意識を高める。	地域の防災訓練の開催状況を確認し、参加可能であれば防災担当を主として参加をしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。